



世界に貢献する強い日本をつくる —今、ここから何ができるか—

栄光学園OBゼミ・2021年10月27日

紀谷昌彦（31期）

在シドニー日本国総領事

お伝えしたいこと

- 1 はじめに：自分を知り、自分で決めることがなぜ大切か
- 2 私は何をしてきたか：外務省での仕事
- 3 私は何を学んだか：世界の課題を解決する方法
- 4 おわりに：皆さんにはどのような可能性があるのか

1 はじめに：自分を知り、自分で決める ことがなぜ大切か①

各質問に対して、できれば出席者の3分の1ずつ、ひとことで回答してもらいます。皆で回答を聞き、自分と照らし合わせましょう。

質問1：今、一番熱中していることは何ですか？

質問2：これまでの人生で、一番感動したことは何ですか？

質問3：あなたが一番得意なことは何ですか？

1 はじめに：自分を知り、自分で決める ことがなぜ大切か②

- 他人の人生を生きない。自分の人生を生きる。（これが難しい。）
- 興味があることに「アンテナを立てる」と、情報が入ってくる。
- やりたいことなんてなくていい。まず目の前のことに取り組む。
- 全ての人から学ぶ。「スキル」と「心の持ちよう」の双方が大事。
- 私の話も、自分自身に引き付けて、今後の行動に活かしてほしい。

2 私は何をしてきたか： 外務省での仕事（①入るまで）

1977年 神奈川県栄光学園中高校

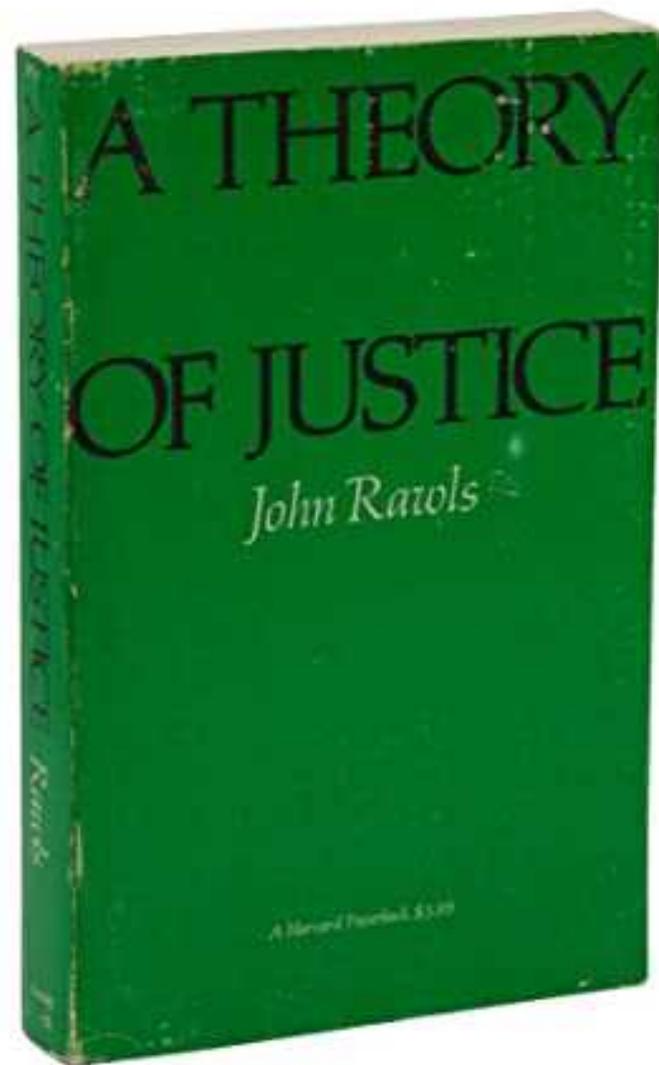
- 新書、バスケット部、コピーバンド、ロードレース
- 何をやっても上がっていると悩む、社会がわかる文系へ

1983年 東京大学文I・法学部

- 学問の楽しさ（学ぶ意味を自ら考える）、ESSと模擬国連
- 正義論：恵まれた立場は活かして社会に還元すれば良い
- 世界の不条理に正面から取り組みたい、国連をやりたい

1987年 外務省入省

- 意見が言える、現場が見られる、情報がある



A THEORY

OF JUSTICE

John Rawls

A Harvard Paperback, \$5.99

2 私は何をしてきたか： 外務省での仕事（②若手期）

- 1987年 入省、国連政策課 – 外交官の自伝と伝記、成功 & 失敗体験
- 1988年 英ケンブリッジ大留学 – 英語で苦勞・屈辱感、欧州に感動
- 1990年 在ナイジェリア大使館 – 正直者が報われる大切さを実感
- 1992年 防衛庁防衛局運用課部員 – 結婚、航空自衛隊、カンボジアPKO
- 1994年 西欧第2課総務班長 – 戦後50周年の英戦争捕虜問題、
「行政の将来を考える若手の会」を立ち上げて運営、
オールジャパンの重要性を痛感、ビジネス／経営書を読破
- 1996年 会計課総務班長 – 予算プロセスを経験
- 1998年 国際経済第2課首席 – 国際金融危機、APEC経済委員会





省庁や官民の枠を越えて
日本と行政の将来のあるべき姿を議論しよう!

2 私は何をしてきたか： 外務省での仕事（③飛躍期・模索期）

2000年 在米国大使館 – 最も充実

ワシントンDC開発フォーラム立ち上げ、ウェブ・ML運営、
「日本の良さを世界のために」というビジョンを構想

2003年 在バングラデシュ大使館

– 現地ODAタスクフォースのモデルを全開発途上国に拡大

2006年 国際平和協力室長

– 国連PKO、平和構築の大臣演説・人材育成事業を担当

2008年 国連企画調整課長 – 国連総会、広島長崎原爆式典、マラソン開始

2010年 防衛省提供施設課長 – 全国の米軍基地に出張、トレラン開始

2012年 在ベルギー大使館公使 – NATOを担当、CCC100km完走



NAOYUKI
AGAWA

NORMAN
NICHOLSON

KIYA
MASAHIKO

LESTER
DALLY





2 私は何をしてきたか： 外務省での仕事（④幹部期）

2015年 駐南スーダン大使

- PKO派遣中、国連・開発・平和構築・安全保障の全てが関連
- ジュバ衝突で邦人退避オペレーション、PKO撤収まで残る

2017年 アフリカ部・国際協力局参事官（兼TICAD・NGO担当大使）

- これまでの経験分野全てを本省で生かす
- アフリカ開発会議に加え国際保健やNGOも担当、本2冊執筆

2019年 在シドニー総領事

- 新天地、豊かで成長する多文化社会→日本の将来への危機感
- 「世界に貢献する強い日本をつくる」にビジョンを変更
- 日豪ビジネス、人的交流・文化交流（Japanarooの立ち上げ）、戦争・和解・協力の歴史、対外発信（在シドニー総領事通信）





—任期を終えるにあたり、自衛隊、JICA、国際機関、NGOをはじめ、南スーダン現地での様々な日本のアクターの活躍と貢献、さらに教訓や課題を整理して、本の形で広く共有することで、今後の日本の平和構築支援のあり方を考える材料を提供したいと考えた。

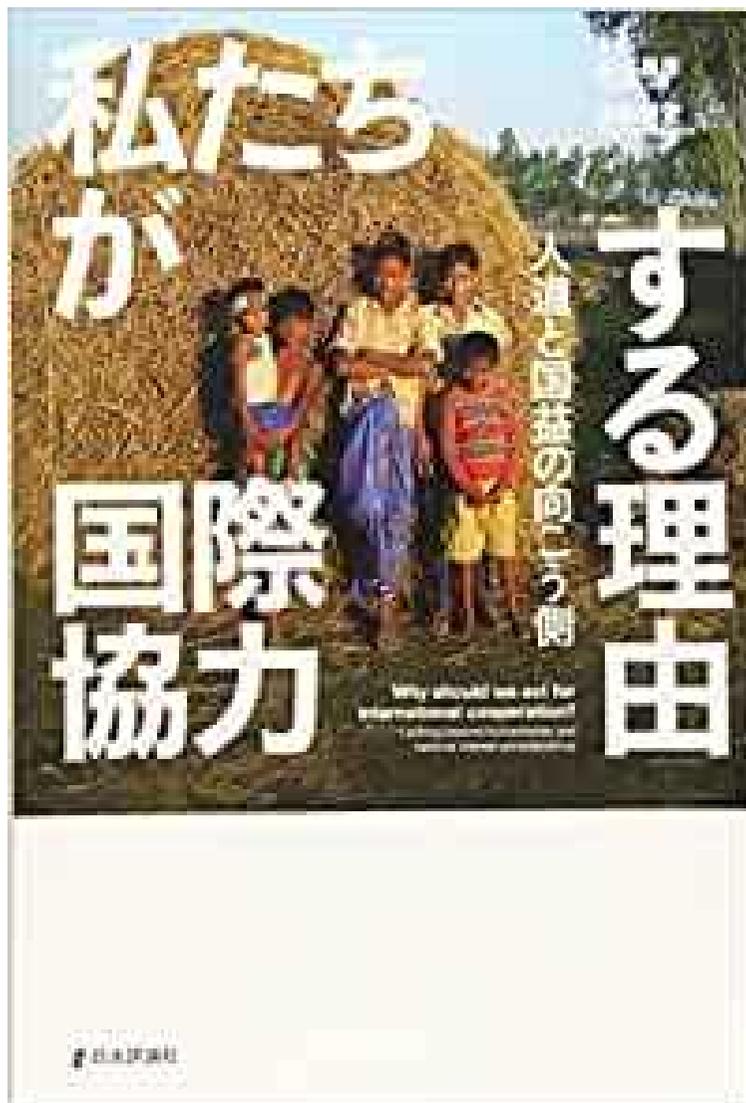
ちくま新書
1382

「日本政府、そして広く日本国民が南スーダンのような国とどう向き合い、その課題にどのように関与するかは、日本のあり方を見直すことでもある。

ある意味、南スーダンは、日本が世界の平和についてどう考えるか、どう取り組むかを映し出す鏡、一つの自画像とも言える。」

Seventh Tokyo Conference
on African Development
アフリカ
October 30, 2019 in Yokohama, Japan
Japan, United Nations, African Union Commission,
UNDP





「日本の強みを世界に生かしなが
ら日本と日本人が生存し続ける
ための大戦略、日本と世界が共栄
するためのビジョンの中核の一つ
として『国際協力』を位置付け、
日本に強みのある様々な分野で
『ジャパン・アジェンダ』として
具体化し、実施していくことが
大事だと思います。」



The Great War
1914 - 1918

THE NAMES OF THE
MEMBERS OF THE
ARMY OF THE
SOUTH AUSTRALIAN
REGIMENT WHO
SERVED IN THE
THEATRE OF OPERATIONS
DURING THE GREAT WAR
1914-1918

NOBIL AFRICA
GIBRALTAR
GIBRALTAR
DEFENCE



3 私は何を学んだか： 世界の課題を解決する方法（①自分）

- 世界には、あらゆる課題があふれている。どう手をつけるか。
→まず、①自分を動かす（心のもちよう／全ての基盤）
 - 情熱と気概の共有と深化
 - 実行すること／継続すること
 - 自燃人・可燃人・不燃人・消燃人
 - エネルギーの調達（好きなことを日課にして、原点に戻る）
 - わらしべ長者（すべてのご縁を大切に）
 - 巡り合わせに感謝（おごらずくさらず、すべてから学ぶ）
 - Stay hungry. Stay foolish. Connecting the dots. (Steve Jobs)

3 私は何を学んだか： 世界の課題を解決する方法（②社会）

→次に、②社会を動かす（歴史とマネジメントを勉強）

（1）歴史

- 自己認識と価値の源泉、発想と教訓の宝庫
- 来し方行く末を語り、ストーリーで人を動かす
- 世界はトップダウンとボトムアップで動く

（2）マネジメント

- 組織と組織の間に価値が眠っている（→オールジャパンの取組）
- リーダーの役割：方向を示す、リソースを配分する、人を動かす
- 「OR」でなく「AND」、「か」でなく「と」の力

4 おわりに：皆さんにはどのような可能性があるのか

- 日本中、世界中のあらゆる課題（SDGs）は皆さんを待っている。
 - 保健、教育、環境・エネルギー、貧困、紛争、人権・・・
 - ハンス・ロスリング他 [『Factfulness』](#)：課題を正しく見る
- どんな仕事でも、世界の課題解決に貢献できる。
 - どの川を流れても、大海につながっている。
 - サイモン・シネック [『Start with Why』](#)：何を目指すかが大事
- 今、ここから情熱と努力で世界は変えられる。妄想は現実化する。
 - “Be the change you want to see in the world.”
 - 自分起点で世界を動かす。輪を同志、日本、世界に広げる。

連絡先

紀谷昌彦（きやまさひこ）

masahiko.kiya@mofa.go.jp

Facebook友達申請、
Twitterフォロー歓迎します！

[https://www.facebook.com/
masahiko.kiya/](https://www.facebook.com/masahiko.kiya/)

[https://twitter.com/CGJapan
Sydney](https://twitter.com/CGJapanSydney)

